

広島市植物公園 見どころ案内

ローズ&ハーブ フェスティバル(6/1まで)

バラ(アメリカン・ピラー)

(バラ科)
アメリカで1902年に作出された、やや遅咲きのつるバラです。光沢のある葉が美しく、花も小さいながらもたくさん咲き、フェンスいっぱい鮮やかに彩ります。

シャンプーノキ

(ゴマ科)
マダガスカル原産で、現地では葉を水につけて揉んで出した樹液をシャンプーに利用するそうです。

アケボノフウロ

(フウロソウ科)
ヨーロッパアルプス原産です。花が大きく、人気のある山野草で、色の異なる園芸品種もあります。

バラ(ブラッシュ・ノワゼット)

(バラ科)
オールドローズとしてはめずらしいほぼ完全な四季咲き。小さいながらも淡い色の花を秋遅くまで絶えることなく咲かせます。

タイムの丘(シソ科)

タイムには料理用の種類以外にも様々な斑入り品種があります。地を低く這いカラフルで香りの良いカーペットになっています。

ヤマアジサイ(アジサイ科)

ちらほらと咲き始めました。日本庭園の奥は「ヤマアジサイの里」と呼ばれていて、小路の両脇にヤマアジサイが咲き乱れます

サラサウツギ

(アジサイ科)
ウツギの八重咲き品種で、花びらの外側がほんのり赤く色付きます。花季は普通のウツギよりやや遅めです。

コアジサイ

(アジサイ科)
装飾花が全く無いアジサイです。派手さはないけれど清楚な雰囲気です。

ホタルブクロ

(キキョウ科)
つりがね型の花で、名前の由来は子供がこの花でホタルを包んだからなど、諸説あります。

ヒペリカム

(オトギリソウ科)
鮮やかな黄色い花が目を引きます。丈夫で街路の植え込みにもよく使われます。

キソケイ(モクセイ科)

ヒマラヤ産の常緑低木。鮮やかな黄色い花をつけていますが、香りはないようです。

ヤマボウシ(ミズキ科)

白く花弁に見えるのは、苞葉で先がとがります。仲間のハナミズキがへこむのと対照的です。

